



2023年1月19日

株式会社 阿波銀行

有限会社インディーズの「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社インディーズ（取締役 山口 裕治、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	有限会社インディーズ
所在地	徳島県徳島市川内町竹須賀 160 番地 1
代表者	山口 裕治
業種	自動二輪車販売業
設立	2001 年 4 月 2 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2023年1月19日



## 有限会社インディーズ 取締役 山口 裕治

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境	環境に配慮した店舗づくり	店舗運営において、省エネの取組を行います。	① 店舗の照明のLED化		
			② 2023年中に100%実施		
社会	コンプライアンスの向上	二輪販売事業者として法令を遵守し、法令の改正・新規制定等にも対応していきます。	① 従業員教育に努め、定期的な研修・勉強会の開催		
			② 年6回実施		
社会	豊かな地域づくりから住み続けられる街づくりへ	地域に根付いた企業として、地域とともに成長し、持続可能な開発に向けて地域との連携を強化し、地域経済の発展を目指すために努力してまいります。	① 地元小学校と連携を図り、定期的な清掃活動・交通安全活動への参画		
			② 年6回参画		
社会・経済	働きがいのある職場	従業員の働きがい向上につながる職場づくりに努めます。	① 有給休暇の取得及び資格取得の推奨制度の実施		
			② 有給対象者100%の取得 損害保険募集人資格等の100%取得		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。